

令和7年度 第1回 研究評価委員会

開催日時

令和7年9月19日（金） 13：30～15：30

1 中間評価対象課題と評価結果

	進捗状況	得られた成果	目標達成の可能性	課題の取扱い	合計
アニマルウェルフェアの普及に向けた豚の飼養管理技術の確立 (中小家畜研究課 R6-R8)	4.0	3.5	3.0	3.5	14.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・消費者は、豚の去勢についてほとんど情報がなため、去勢に関する情報提供も必要である。
- ・そのうえで、アニマルウェルフェアに則した去勢の方法について検討していく必要がある。
- ・外科的な去勢方法だけでなく、免疫学的な去勢方法についても検討していただきたい。
- ・粗繊維給与による繁殖性や生産性の改善効果に期待する。

※中間評価結果の数字は、各評価項目について、次の判断基準により4名の評価委員が評価した点数の平均値です。

1. 進捗状況

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 5点：予定以上に進んでいる | 4点：ほぼ予定どおりに進んでいる |
| 2点：予定どおりに進んでいない | 1点：ほとんど予定どおりには進んでいない |

2. 得られた成果

- | | |
|------------------|-------------------|
| 5点：期待以上の成果が得られた | 4点：ある程度の成果が得られた |
| 2点：あまり成果が得られていない | 1点：ほとんど成果が得られていない |

3. 目標達成の可能性

- | | |
|--------------|---------------|
| 5点：極めて可能性が高い | 4点：可能性が高い |
| 2点：可能性が低い | 1点：ほとんど可能性がない |

4. 課題の取り扱い

- | | |
|-----------------|----------------|
| 5点：飛躍的に取り組みを強める | 4点：取り組みを強める |
| 2点：取り組みを緩める | 1点：むしろ中止すべきである |

2 令和8年度新規課題事前評価対象課題と評価結果

	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される成果	合計
糞性状による乳牛の実用的栄養管理指標の作成 (大家畜研究課 R8-R10)	3.5	3.5	4.0	3.5	14.5

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- 糞粒度を指標とする技術は、低コストで実施できるため、一定の成果が得られた場合は、波及効果も高いと考える
- ただし、指標の検証を行う際には、結果ありきではなく、フラット（先入観のない）な視点から評価を行うことが重要である。
- 生産者の収益性向上につながる指標が開発されることに期待する。

※事前評価結果の数字は、各評価項目について、次の判断基準により4名の評価委員が評価した点数の平均値です。

1. 必要緊急性

- 5点：極めて緊急に必要である
- 2点：緊急に必要ではない

- 4点：緊急に必要である
- 1点：ほとんど緊急でも必要でもない

2. 新規独創性

- 5点：極めて新規性も独創性も高い
- 2点：新規性も独創性も低い

- 4点：新規性も独創性も高い
- 1点：ほとんど新規性も独創性もない

3. 目的達成の可能性

- 5点：極めて可能性が高い
- 2点：可能性が低い

- 4点：可能性が高い
- 1点：ほとんど可能性がない

4. 期待される効果

- 5点：大いに期待できる
- 2点：あまり期待できない

- 4点：ある程度期待できる
- 1点：ほとんど期待できない